

紫雲亭中

片原悠介

「あの恐ろしい惨劇をもう起こさないのでほ  
しい。そんな願いと共に参加しました。  
平和記念式典では、子どもから大人までの  
たくさんの方の平和への願いや想いを聞いて  
きました。  
これは、二度と原爆による被害を出さないた  
めに何をすればよいのか。僕は、やはり後世へ原爆の恐怖や悲しさを語り継ぐこ  
とだと思われました。実際、「原爆は恐ろしい  
もの」ということを知って、これこそ真剣に考え  
る機会はありませんか。僕  
は参加してあげて改めて原爆の恐ろしさを感じ  
ると共に、平和への願いが強まり、こうあれ  
ば平和になるか考えられました。そして、た  
だ平和を望むだけでなく、感じた事を話すな  
ら自分にもきることを積極的にしていきたい  
と思えます。  
また、平和を望むのは実際に犠牲になっ  
てしまった方々も同じかと思えます。だからこ  
そ、これから世界に平和を作りあげていく僕

紫雲寺中

片原悠介

達若者が犠牲者の想いを背負っていかないと  
駄目なので。

僕は今までこの事実から目を背け続けて  
いたのがおしれませんが、なぜなら、あまり詳  
しく知らなかったからです。ですが今は違  
ます。様々な事実や現状を知り、少しでも真  
剣に向き合うことかできてきたと思います。

原爆の無い平和な世界にするためには、た  
だ望むだけだと駄目です。どんなに小さいこ  
とでもいいから、行動することが大切です。